

20. 外来で化学療法を行った延べ患者数

項目の解説

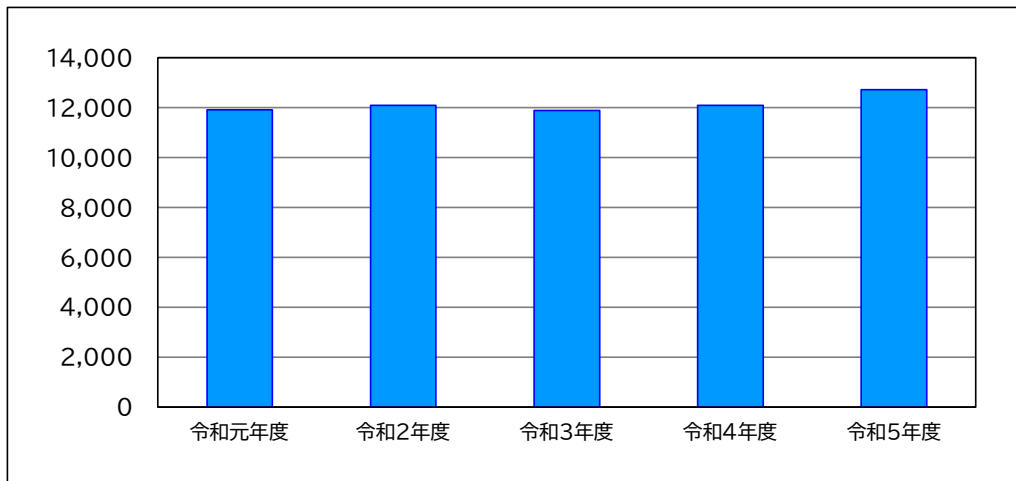
近年、化学療法の多くが外来で行えるようになり、日常生活を送りながら治療を受けられるようになりました。患者の生活の質向上につながる一方、外来で適切に化学療法を行うためには、担当の医師、看護師、薬剤師等の配置が必要になります。外来化学療法を行えるだけの職員、設備の充実度を表現する指標です。

令和3年度から令和5年度にかけて増加傾向にあり、今後も利用件数が増えていくことが予想されるため、外来化学療法室では専任の医師、看護師、薬剤師と連携し、適切で安全ながん治療の提供に継続して努めてまいります。

当院の実績

九州大学病院				
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
11,908	12,093	11,889	12,093	12,723

(単位：人)



定義

医科診療報酬点数表における、「B001-2-12 外来腫瘍化学療法診療料」、「第6部注射通則6 外来化学療法加算」の算定件数です。



九州大学病院

KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL